

## 海のレメディのケース

女性、イギリス人。

クリニックに現れてしばらく無言だった彼女が最初に言ったのは「男が大嫌い」  
子どものときに精神的なダメージを受けた。

現在、社会的な問題を抱えた子どもたちの施設で働いていて、その子どもたちから暴力を受けている。  
何故、そんな職場で働いているのか？

↓

代償行為：暴力的子どもたちを助きたい

また、彼女自身の中に潜む暴力的な子どもの部分を助きたい

シェーグレン症候群（自己免疫疾患の一つ）

症状：乾燥した口、乾燥した目、粘膜の乾燥、

胃—消化の問題

肺—喘息

関節の痛み

膣の乾燥→セックスが出来ない→深いコミュニケーションが持てない

以前に Sepia を服用したことがあり、消化器系とアレルギーは良くなった

「平等」とか「公平」とかお金についてよく話す。

肝臓・脾臓の肥大

燃え尽きた感覚、不公平感

前にも進めないし後にも戻れない

強い意志力がある。

夢：大きな口

彼女に「目を閉じて、すぐ思い浮かぶイメージ、心に浮かんでくるものを言って見て下さい」というと、すぐに「紫」と答えた。

## 秘密主義

男性と精神的な関係は持ちたくないが、性的関係は必要である。

子どもたちに「ノー！」と言えない。

恨みを抱く。

Sepia が前によく効いた。

Sepia は、人の弱点をよく知っていてそこつく。

## 偏頭痛

「海水」が欲しいと言った。「海水から癒しを得ることができる」とも。

「変化」がキーワード。「変わりたい」「変わりたくない」どちらも。

「心では私はまだ子どものまま。子どもが大好き、子どもと遊ぶのは大好き、子どもを理解できるわ。暴力は大嫌い。私は千里眼よ」